

高等部 3年生 外国語 年間計画

【2段階】

指導内容	単元名 (仮)
<p>【知識及び技能】 <u>選択教科</u> <u>生活単元学習</u></p> <p><b>ア 英語の特徴等に関する事項</b>                      (ア) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くこと。                      ㉗ 英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くこと。                      ㉘ 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。                      ㉙ 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くこと。</p>	<p>「」</p> <p>*いずれも特別支援教育独自。                      *2年生で取り扱う内容と同じ。</p>
<p>【思考力, 判断力, 表現力等】 <u>選択教科</u> <u>生活単元学習</u></p> <p><b>イ 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</b>                      (ア) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うこと。                      (イ) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすること。</p>	<p>「」</p> <p>*いずれも特別支援教育独自。                      * (ア)は2年生で取り扱う内容と同じ。                      * (イ)は1段階と同様。取り上げる語彙を増やすなど、学習を発展させる。(知的の内容解説 P.185 を参考に)</p>
<p><b>ウ 言語活動及び言語の働きに関する事項</b></p> <p><b>① 言語活動に関する事項</b>                      (ア) 聞くこと                      ㉗ 自分のことや学校生活など身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。                      ㉘ 日付や時刻、値段などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。                      ㉙ 友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真を参考にしながら聞いて、必要な情報を聞き取る活動。                      (イ) 話すこと【発表】                      ㉗ 簡単な語句や基本的な表現を用いて、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを話す活動。                      (ウ) 話すこと【やり取り】                      ㉗ 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。                      (エ) 書くこと                      ㉗ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写す活動。                      ㉘ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写す活動。                      (オ) 読むこと                      ㉗ 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。                      ㉘ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを、挿絵がある本などの中から識別する活動。</p> <p><b>② 言語の働きに関する事項</b>                      (ア) 言語の使用場面の例                      ㉗ 特有の表現がよく使われる場面                      ・挨拶 ・自己紹介 ・買物 ・食事 ・道案内 ・旅行 など                      ㉘ 生徒の身近な暮らしに関わる場面                      ・学校での学習や活動 ・家庭での生活 ・地域での生活 など                      (イ) 言語の働きの例                      ㉗ コミュニケーションを円滑にする                      ・挨拶をする ・呼び掛ける ・相づちを打つ ・聞き直す など</p>	<p>「」</p> <p>*いずれも特別支援教育独自。</p> <p>①言語活動に関する事項                      (ア)㉗の例                      教師が話している英語の説明を、その内容に関係するイラストや写真等を見ながら、就きたい職業、その理由などの情報を聞き取る活動。                      (エ)㉘の例                      1段階の㉗, ㉘, ㉙との相違点や共通点を踏まえた活動。(知的の内容解説 P.188～189 を参考に)                      (オ)㉘の例                      文を読んで、その中から音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを識別する活動。(知的の内容解説 P.190 を参考に)</p> <p>②言語の働きに関する事項                      ※知的の内容解説 P.177～182を参考に。</p>

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 気持ちを伝える<ul style="list-style-type: none"><li>・礼を言う ・褒める ・謝る など</li></ul></li><li>② 事実・情報を伝える<ul style="list-style-type: none"><li>・説明する ・報告する ・発表する など</li></ul></li><li>③ 考えや意図を伝える<ul style="list-style-type: none"><li>・意見を言う ・賛成する ・承諾する ・断る など</li></ul></li><li>④ 相手の行動を促す<ul style="list-style-type: none"><li>・質問する ・依頼する ・命令する など</li></ul></li></ul> |  |
|--|--|